

自己評価の実施及び公表に関する報告書(令和6年度実施分)

令和7年2月10日

事業所名	発達支援ルームらしど
事業	児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援
住所	広島県広島市中区白島中町2-2
電話番号	082-962-5200
担当者職・氏名	管理者 桂 みどり

項目	内容	実施時期	特記事項
保護者等による評価	利用する障害児の保護者等を対象としたアンケートを実施する。	令和6年12月	
従業者による評価	事業所の従業者による自己評価を行う。	令和6年12月	
訪問先施設による評価 ※ 保育所等訪問支援のみ実施すること。	実際に訪問支援を受け入れる保育所等による評価を実施する。		
事業所全体による自己評価	保護者及び従業者による評価の結果を踏まえて、事業所全体で自己評価を行う。	令和7年1月	
	職員間で認識が共有された課題については、改善に向けた具体的な見通しや取組を検討する。	令和7年1月	
自己評価結果等の公表	自己評価結果等をインターネットその他方法により公表する。	令和7年2月 公表方法 事業所内掲示 HPへの掲載	
	保護者等の評価(アンケート)結果を保護者等にフィードバックする。	令和7年2月	

※ 公表した自己評価結果を添付してください。

※ 令和6年2月14日(金)までに提出してください。期限内に報告が難しい場合は、報告予定日を速やかに連絡してください。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルームらしど(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		令和7年1月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	63	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		令和7年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様と対面でお話できる機会が多く、気軽に相談や申し入れ・情報共有をしやすい環境である。	毎回の療育後に必ずフィードバックの時間を設けており、活動の様子やお子さまの状況をお伝えするとともに、情報共有を行っている。 ご希望があれば面談の機会を設けている。	フィードバックの時間は5~10分と短いため、保護者様の様子や必要に応じて、こちらからも面談のご提案を行う。 また療育中にも適時お子さまの様子を伝えたり、場合によっては保護者様にも一緒に活動に参加していただくことで、保護者様との関係やお子さまへの理解を深めていきたい。
2	個別活動だけでなく、集団活動の枠も設けている。	個別活動と集団活動、それぞれにおけるお子さまの様子や課題を探り、支援内容に反映させるようにしている。 園や学校での集団生活に向けて、個別活動で経験したことを、小集団での活動に活かせるよう、繋がりのある支援を心がけている。	保護者様からの聞き取り等をもとに、園や学校で実際に行われている取り組みを知り、より実際の場面に近いプログラムを検討していきたい。
3	情報発信や研修事業が充実している。	定期的に法人ニュースレターやホームページ、Instagram等で活動内容や情報の発信を行っている。 外部イベントや研修会に関するお知らせを事業所に掲示するとともに、案内を配付している。	ホームページやInstagram等、掲示をしていない情報ツールを知らない保護者様が多いため、広めていきたい。 通勤や家庭の事情がある職員も、研修に参加しやすいよう、開催時間や場所の調整を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育スペースが少し狭い。 マットの数が少なく、危険な場面がある。	建物の構造上、3~4人で療育室を共有したり、ダイナミックに遊具を揺らして遊んだりする時に、それぞれの距離が近くなりやすく、リスク管理が必要である。	安全に活動が行えるよう、職員の立ち位置やマットの配置等に工夫が必要である。 マットの追加を検討する。
2	非常災害対策の周知が不十分である。	非常災害対策を周知する方策が不十分である。	事業所内の掲示や配布物等にて、非常災害対策の取り組みやマニュアルを周知する。
3	職員によって支援に質に少しかたよりがある。	お子さまの様子に応じて、臨機応援に支援プログラムを組み立てる力が必要なため、個々の経験や知識によってかたよりが生じやすい。	研修やメンター制度の強化を図る。 職員間で情報共有を密に図り、チームで支援方法を検討することで、質の向上を図る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	発達支援ルームらしど(児童発達支援)		公表日	令和7年 2月 10日		利用児童数	63	回収数	43
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	○			<p>楽しんでいるので問題はないですが、以前の1階の方が広くて2階?にも上がれて広がったと思います。</p> <p>マットレスの数がもう少し多い方がいいように思います。</p> <p>子供が年長なので、動きたいのもあり集団活動の時はぶつかる場面を見たりします。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>安全に活動できるように、マットの位置やスタッフの配置等の環境構成に努めながら、取り組んでいきます。</p>		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	○			<p>状況に合わせてスタッフの人数を調整されていると思いました。</p> <p>増やしてもいい気もする。</p> <p>マンツーマンでついてもらってありがたいです。</p> <p>必ず1対1、多い時は2人も先生がついてくださり、手厚いと思います。</p> <p>ただ、集団療育の時の仕事の時間は1対1でない時があり、本人が困っている場面が気づいてあげられない事がありました。自信を無くしてしまった事があったので今後は、十分注意してあげてほしいです。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>今後も活動やお子さまの状況に合わせて職員の人数を調整していきます。</p> <p>また集団活動の時には、お子さまの様子が把握できるような立ち位置・配置となるよう連携を行い、努めてまいります。</p>		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	○			<p>階段が少し急勾配。</p> <p>急な階段になっているため、階段の上り下りが苦手な子には配慮が必要です。柵りは先生が下まで降りてくださる配慮はさせていただきます。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>建物の構造上、急な階段となっておりますので、お手伝いが必要な際には、お気軽にインターフォンでお声がけください。</p>		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	○			<p>運動する場所と勉強する場所と部屋が別れているので本人もわかりやすいです。</p> <p>清潔さ、お部屋もトイレもとても綺麗だと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>今後も日々の清掃・換気・アルコール消毒を徹底してまいります。</p>		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○			<p>どの先生も子どもにあった指導をしてくださっていると感じます。</p> <p>個別計画やフィードバックなど、専門的な目線でお話いただけるので勉強になります。</p> <p>どの先生も時間いっぱいしっかりと関わってくださっている。保護者の思いも毎回、聞き、一緒に考えてくださり、助けられている。</p> <p>小さな変化にも気づいてくださる先生もいてありがたいです。</p> <p>良いところを伸ばしてもらえる所だけでなく、成長のために愛の鞭を打ってくださる所、とても嬉しいです。</p> <p>いつもとても楽しく活動できるようにしてくださっています。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>今後もお子さまへの理解や支援内容の質の向上に努めてまいります。</p>		

適切な支援の提供	5 (こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。)	(○)				<p>毎回、保護者への今日のフィードバックをしてください。先生と話しやすい、相談しやすい環境が整っており、課題を共有しやすいです。</p> <p>1時間という限られた時間と、月に2回程度の利用にも関わらず、先生どうして本人の成長や課題、今必要な支援について密に情報共有いただいていることが伝わります。意識統一していただいているおかげで、短時間であっても毎回軸のある内容の濃い療育を受けさせていただけていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。</p>	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	○					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	○				<p>いつも丁寧な支援計画を作ってくださいと思っています。</p> <p>計画を作成するにあたり、保護者の考えている課題などを聞きとりしていただきましたが、その場での聞きとりより、一旦用紙など持ち帰って記入のほうが落ち着いて考えられたかなと思いました。</p> <p>我が子を客観的に見れる機会にもなっています。</p> <p>保護者と話し合っって計画書を作成してください。困りごとや課題を擦り合わせて、療育に取り入れてください。</p> <p>子供と生活する中で大人が合わせれば支障無く過ごせることでも、これから就学など社会に出ると課題となることもあることが、親としての目線だとこぼれ落ちてしまいがちなのですが、専門的な目線で適切に評価くださり、私達が気づかない課題を見つけて、本人の発達過程で無理の無いよう長い目で支援を考えてくださることに、心強さを感じます。いつもありがとうございます。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。今後もお子さまの様子をお伝えしつつ、保護者様の想いにもお応えできるよう、努めてまいります。</p> <p>また聞き取り用紙について、その場での聞きとりや持ち帰り等、ご都合のよろしい手段について何うようにいたします。</p>
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	○				<p>毎回違った内容で、本人が楽しく療育を受けられるよう工夫されている。</p> <p>毎回楽しい遊びを準備してくださり、子供は飽きずに楽しめています。その場で思いついた遊びも柔軟に取り入れてくださり、本人の自己肯定感が利用する毎に上がっているように感じます。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。この結果が維持できるよう、今後も努めてまいります。</p>
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	○				<p>発表会ではお友達が舞台上に立っているのを袖で座って待つ、が難しく、先生から小さな絵本を手渡していただいで場をつなく場面はありましたが、自分の発表はきちんとできる、落ち着いてその場にいられる、しっかり楽しめている様子がありました。</p> <p>今の園はこちらから希望しない個人面談などは特にされないで、日々の送迎時くらいしか様子を聞くことができないのですが、きちんと時間を取っていただかないかと思っています。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。園の先生等に療育の見学をしていただくことも可能です。ご要望があれば、お気軽にお声がけください。</p>
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○					

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	○				研修会などを定期的に開いてくださり、助かっています。前回は就学に向けて先輩保護者の方の講演会をひらいてくださいました。保護者のニーズにあった研修会を開いてくださるのでありがたいです。	ご意見ありがとうございました。今後も定期的な研修会の開催や、情報提供を行ってまいります。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	○				具体的に丁寧に教えてもらっている。 毎回必ず最後に振り返りをしてくださいます。 電話でも丁寧に聞いてくださいます。困りごとと一緒に案を考えてくださいます。スモールステップでその時の状況に合わせて常に連携をとってくださいます。色々なアドバイスをたくさんして下さるので、専門的な引き出しをたくさん持っている先生がいて助かっています。	ご意見ありがとうございました。今後も保護者様とのフィードバックの時間を大切にし、お子さまへの理解が深まるよう、取り組んでいきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○				毎回、思いを聞いてくださっている。 先生方からのアドバイスで、育児を頑張ることができています。 先生方というよりは、保護者から相談するスタンスかなと思います。	ご意見ありがとうございました。保護者様からのご要望に応じて、面談の機会を設けております。お気軽にお声がけください。お子さまの様子や面談機会の希望について、職員から積極的に情報収集するように心がけてまいります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○				どのスタッフの方でも、話しやすい雰囲気があり、いつも優しく接してもらっている。 心から温かく迎え入れてくださって、温かい空気に包み込まれた事業所。 子供のいいところをたくさん見つけてくださる先生が全員とっていいくらい、いい先生ばかりです。保護者の想いや子供の気持ちを汲み取ってくださる。一緒に成長を喜んでくださいます。	ご意見ありがとうございました。この結果が維持できるよう、今後も努めてまいります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	○				あまりそういうことは無いが、求めているのでなくて大丈夫です。	ご意見ありがとうございました。保護者様からご要望がございましたら、今後検討させていただきます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○				いつも真摯に対応して下さるので、心に余裕ができ、気持ち良く帰っています。 子供だけでなく私達の気持ちにもいつも寄り添ってくださり救われています。何か困ったこと、相談したいことがあると、らしどの先生のことが一番最初に浮かびます。 相談しやすい環境を整えてくださってありがとうございます。	ご意見ありがとうございました。今後も気軽に相談ができる環境や雰囲気作りに努めてまいります。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	○					定期的に法人ニュースレターやホームページ、Instagramにて活動概要や情報の発信を行っております。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					個人情報に記載されている書類等は、全て鍵付きの書庫に保管しています。また廃棄書類はゴミ箱ではなく、シュレッダーを用いて廃棄しております。	
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○					
		24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				○		避難場所の掲示や災害セットの備蓄を行っております。

非常時等の対応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○				揺れる活動をする時、子供が思わぬ方向に転倒する時があるので、マットがもう少し多い方がいいと思います。	ご意見ありがとうございました。安全に活動できるように、マットの位置やスタッフの配置等の環境構成に努めながら、取り組んでいきます。またマットの追加について検討いたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	○				毎回とても喜んでいきます。	ご意見ありがとうございました。この結果が維持できるよう今後も努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	○				いつも行く日を楽しみに通っています いつもとても楽しみにしています！ 木曜日らしどだから保育園頑張ろうね！が合言葉です。	ご意見ありがとうございました。この結果が維持できるよう今後も努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	○				いつも、楽しく過ごさせていただき、ありがとうございます。 先生により支援の質に偏りがあります。 いつもありがとうございます。 来年も利用したいくらいです。(年長でかありませんが笑) 本当にありがとうございます。	ご意見ありがとうございました。お子さまの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討するとともに、個々の自己研鑽に励むことで、一貫した支援の質の保障に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援ルームらしど(児童発達支援)				公表日	令和7年 2月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動に応じて、使用するスペースを分けたり共有したりできるよう、事前に連携を行っています。	個別枠だと感じませんが、集団枠だと少し手狭に感じることがあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		安全にフィードバックが行えるよう、個室に移動したり、お子さまのクールダウンを促したりしています。	療育自体はまわっていますが、人が足りないことでフィードバック中や片付け等に手が足りないことがあります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		階段が急なため、手伝いが必要な方には、インターフォンで声をかけていただくようにしています。 玩具や玩具は、お子さまの刺激とならないように倉庫に収納しています。	階段が少し急になっています。 階段が長くて危ないと感じることがあります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的な清掃・換気・アルコール消毒を徹底しています。 活動内容によって個室と療育室を使い分けています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室が1つあり、机上活動やクールダウンの場として活用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		業務を行ううえで気になる点が出た時には、都度職員で話し合いを行っています。	指導不足でできていないスタッフもいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からの評価表は、毎年全て目を通してしています。	保護者様からいただいたご意見や内容について、改善に努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務を行ううえで気になる点が出た時には、都度職員で話し合いを行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在のところ、第三者による外部評価は実施していません。今後必要があれば検討いたします。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月、事業所内や社内・職種別の研修が開催されています。 法人内研修は充実していると感じています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			現在公表は行っておりませんが、令和7年度からの公表に向けた取り組みを進めております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		適切な支援計画の立案に向けて、日々のアセスメントや、保護者様とのフィードバック、ニーズの聞きとり等をしっかりと行うように心がけています。 計画期間ごとにモニタリングを行い、お子さまや保護者様の意向を取り入れた支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		お子さまの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画は全職員に共有されており、療育前には必ず確認を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		毎回支援記録を残しており、状況や変化が確認できるようにしております。		

	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		定期的なアセスメントを行ったうえで、お子さまや保護者様のニーズに沿った個別支援計画を作成しています。	
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		お子さまの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討しています。集団活動のプログラムは、事前に役割分担等の進行について密に連携を図り、チームで取り組むよう努めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子さまの発達状況や様子に配慮しつつ、楽しく参加できる活動の提供に努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別・集団におけるお子さまの発達段階に応じた課題を探り、個別支援計画に反映させています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の活動内容や役割分担について、確認する機会を設けるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		必要に応じて、保護者様からの相談事項やその日にあった出来事を話す機会を設け、職員間で共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回、支援内容やアセスメントの記録を必ず残し、モニタリング等に役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1度、保護者様への聞き取りを行い、支援計画の見直しを行っています。保護者様と園やご家庭・他事業所での様子を共有しながら、お子さまの全体像の把握に努めています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や、よくサービス提供を行っている職員が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		ご希望があれば、園の先生等の関係機関の方に、療育の見学をしていただくことが可能です。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様からの聞き取りをもとに、園でのご様子を推察し、それを踏まえた支援を検討しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		希望された方のみ、支援内容等の情報提供を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			今後必要があれば、検討いたします。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		ご希望があれば、園の先生等の関係機関の方に、療育の見学をしていただくことが可能です。	今後必要があれば、検討いたします。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回の療育後に必ずフィードバックの時間を設けており、活動の様子やお子さまの状況をお伝えするとともに、情報共有を行っています。		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		研修等のお知らせを定期的に発信しています。適時、対面やお電話にて情報共有を行い、気軽にご相談いただける環境づくりを心がけています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学時や契約時に、運営規定や支援プログラム・利用者負担額について説明を行い、質問等があればその場でお答えしています。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時にお子さまや保護者様のニーズの聞き取りを行い、それに基づいた支援を検討しています。またニーズに変化があった時には、都度支援内容の修正・変更を行っています。		
保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		必ず職員が対面にて説明を行い、保護者様から同意していただいたうえで、署名をいただいています。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご希望があった時には、面談の機会を設けています。面談だけでなく、お電話でも相談を受け付けており、支援方法やご家庭での対応策などを提案しています。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		父母の会や、きょうだい同士が交流する機会は現在設けていないため、今後必要であれば検討していきます。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に苦情に対する相談窓口を案内し、適切な対応ができるよう努めています。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		法人ニュースレターやホームページ、Instagram等を通して、定期的に活動内容や情報の発信を行っています。		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載されている書類等は、全て鍵付きの書庫に保管しています。廃棄書類等は、ゴミ箱ではなくシュレッダーを用いて破棄しています。		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さまの発達状況や様子に応じて、絵カード等の視覚支援を用いて、情報の伝達や意思の疎通ができるよう努めています。		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後、ご要望があれば検討していきます。	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定しております。	
		46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		非常災害に備えて災害セットの備蓄を行っています。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に、禁忌事項等について保護者様に確認を行っています。		
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事提供は行っておりません。		
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に安全点検を行っています。		
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に、非常時の対応について説明を行っています。		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事案が起こった時にはヒヤリハットを作成し、原因や予防策等を職員で話し合っています。他事業所で起こった事案についても社内全体で共有し、再発防止に努めています。		

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する研修を定期的に受講しています。 また虐待防止委員会を社内に設置しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		虐待防止委員会を社内に設置し、適正な支援が行われるよう努めています。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルームらしど(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	80	(回答者数) 55
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様と対面でお話できる機会が多く、気軽に相談や申し入れ・情報共有をしやすい環境である。	毎回の療育後に必ずフィードバックの時間を設けており、活動の様子やお子さまの状況をお伝えするとともに、情報共有を行っている。 ご希望があれば面談の機会を設けている。	フィードバックの時間は5～10分と短いため、保護者様の様子や必要に応じて、こちらからも面談のご提案を行う。 また療育中にも適時お子さまの様子を伝えたり、場合によっては保護者様にも一緒に活動に参加していただくことで、保護者様との関係やお子さまへの理解を深めていきたい。
2	個別活動だけでなく、集団活動の枠も設けている。	個別活動と集団活動、それぞれにおけるお子さまの様子や課題を探り、支援内容に反映させるようにしている。 学校や今後の社会での集団生活に向けて、個別活動で経験したことを、小集団での活動に活かせるよう、繋がりのある支援を心がけている。	保護者様からの聞き取り等をもとに、学校や卒業後の事業所で実際に行われている取り組みを知り、より実際の場面に近いプログラムを検討していきたい。
3	情報発信や研修事業が充実している。	定期的に法人ニュースレターやホームページ、Instagram等で活動内容や情報の発信を行っている。 外部イベントや研修会に関するお知らせを事業所に掲示するとともに、案内を配付している。	ホームページやInstagram等、掲示をしていない情報ツールを知らない保護者様が多いため、広めていきたい。 通勤や家庭の事情がある職員も、研修に参加しやすいよう、開催時間や場所の調整を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定員の都合で、保護者様やお子さまが求めるご利用頻度の保障ができていないことが多い。	ご利用を希望してくださる方が多く、ご希望よりも少ない頻度でご了承いただいたり、契約自体を待っていただいたりしている状況である。	ご利用していただいた時に、生活の中でも取り組める関わりや方法をお伝えする等、毎回の支援の質や満足度の向上に努める。
2	非常災害対策の周知が不十分である。	非常災害対策を周知する方策が不十分である。	事業所内の掲示や配布物等にて、非常災害対策の取り組みやマニュアルを周知する。
3	職員によって支援に質に少しかたよりがある。	お子さまの様子に応じて、臨機応援に支援プログラムを組み立てる力が必要のため、個々の経験や知識によってかたよりが生じやすい。	研修やメンター制度の強化を図る。 職員間で情報共有を密に図り、チームで支援方法を検討することで、質の向上を図る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	発達支援ルームらしど(放課後等デイサービス)
------	------------------------

公表日 令和7年 2月 10日

利用児童数 80 回収数 55

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	○				集団療育のときにみんなが走り回ると狭そうだと感じる。しかしぶつからないように配慮してくださっています。	ご意見ありがとうございます。 安全に活動できるように、マットの位置やスタッフの配置、活動スペース等の環境構成に努めながら、取り組んでいきます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	○				必要に応じて、事務所の先生まで出てきてくださるのが有難いです。	ご意見ありがとうございます。 今後も時間の許す限り、活動やお子さまの状況に合わせて職員の人数を調整していきます。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	○				例えばですが、こちらに来たら挨拶の前に1番に名前をひらがなで書くなど、ルーティンがあっても、本人のモチベーション、認知にもつながることなので良いかも？と思います。もちろん、個人個人の成長に応じて、、、でも、名前自体は1番、書くことが多いので。。。あくまで提案です汗 活動の流れ、見通しはとても重要なので引き続きお願いしたい。	ご意見ありがとうございます。 引き続き、お子さまが見通しを持ちやすいような環境構成に努めてまいります。 またお子さまの様子や状況等、個々に合わせた環境・活動の流れを提案をさせていただきたいと思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	○				一度だけトイレの洗面台がとても汚れていて驚いたことがありました。	ご意見ありがとうございます。 絵の具等で汚れることも多いため、こまめに確認を行うようにいたします。 お子さまが触れる可能性が少しでもある場所は入念に清掃し、清潔を保つよう努めます。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○				先生によって理解と対応が違うと感じることがある。 他の子に声掛けが出来なくてうじうじしててもスタッフさんが一緒にゆっくり丁寧に指導声掛けして下さるのでありがたいです。	ご意見ありがとうございます。 お子さまの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討するとともに、個々の自己研鑽に励むことで、一貫した支援の質の保障に努めてまいります。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	○						
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	○					保護者の希望や本人のニーズを職員間でも共有した上で、活動内容を工夫してくださっていると感じます。	ご意見ありがとうございます。 今後も情報共有を行いながら、活動内容の検討・工夫に努めてまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○						
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	○					みんなでやる遊びにおいてもありふれた遊びのルールではなく工夫してちょっと違うやり方で飽きないようにされていると思います。 様々なゲームを通して、楽しんで学べています。	ご意見ありがとうございます。 今後も活動プログラムが固定化しないよう、活動内容の工夫に努めてまいります。
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。				○				
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○							

保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	○					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	○				丁寧にご様子を見てくださっています。	ご意見ありがとうございました。今後も保護者様とのフィードバックの時間を大切に、お子さまへの理解が深まるよう、取り組んでいきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○				相談に親身になってくださり、アドバイス頂いています。	ご意見ありがとうございます。この結果が維持できるよう、今後も努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。					○ イベントの開催がいつも家から遠いので参加できないのが残念です。通っている教室でも開催してほしいです。 参加はできていませんが、様々なイベントが企画されています。同じクラスのお母様たちとコミュニケーションをとれるのは楽しみのひとつです。 保護者会や茶話会のようなものもあっても良いと思います。 保護者の交流する場があるとありがたい。 保護者会が開催されているかは存じ上げませんが、参加したことがないのでわからないに印を付けました。	ご意見ありがとうございました。この度のご要望をもとに、保護者同士・きょうだい同士の交流機会や、イベントの開催場所についての検討をさせていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○				相談をしたことがないのでわかりません。	ご意見ありがとうございました。お気軽に相談ができる環境や雰囲気作りに努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	○				最近通信がないです。	ご意見ありがとうございます。KANON NEWSにつきましては、今年度から2ヶ月に1回の発行頻度となっております。今後も定期的に法人ニュースレター(KANON NEWS)やホームページ、Instagramにて活動概要や情報の発信を行ってまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					個人情報が記載されている書類等は、全て鍵付きの書庫に保管しています。また廃棄書類はゴミ箱ではなく、シュレッダーを用いて廃棄しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					○	各マニュアルを策定しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。					○	避難場所の掲示や災害セットの備蓄を行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○					
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○					
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	○					

満足度	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	○			<p>月1~2なのが残念なぐらい、子供達は楽しみに通っています。</p> <p>通える回数が少ないのでいつも残念がっています。</p> <p>どんなに疲れていても通所することを楽しみにしており、ご褒美の時間となっています。</p> <p>とても楽しみにしています。</p> <p>本人がとても楽しみに通所しているというよりも親が望んでおり、本人も通所が嫌ではないから行っているのが本音のところだと思います。</p> <p>通所をとても楽しみにしています。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>利用頻度の少なさについては、大変申し訳なく思っております。ご利用していただいた時には、生活の中でも取り組める関わりや方法をお伝えできるよう、職員一同努めてまいります。</p>
	29	事業所の支援に満足していますか。	○			<p>いつも楽しく出来ることを増やしてもらえて助かっています！</p> <p>いつもとてもお世話になっています。ありがとうございます。</p> <p>支援には満足していますが、日によっては本人1人だったり同年代の生徒さんがいなかったりするのでそこは改善されたら嬉しいなと思いました。</p> <p>もう少し支援の回数が増えても嬉しいです。</p> <p>もう少し行ける日にちが増えたらな、と思います。</p> <p>大変満足しています。楽しんで成長できる場をありがとうございます。</p> <p>もう少し通える日が増えるといいなと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>利用頻度の少なさについては、大変申し訳なく思っております。ご利用していただいた時には、生活の中でも取り組める関わりや方法をお伝えできるよう、職員一同努めてまいります。</p> <p>同年代のお子さまとの関わりについて、予約の希望状況や急なキャンセル等により、ご希望に添えない場合がございます。大変申し訳ございません。その場合は、職員との関わりの中に、同年代のお子さまとの関わりに向けた取り組みの機会を設定する等の対応をさせていただければと思います。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	発達支援ルームらしど(放課後等デイサービス)				公表日	令和7年 2月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		狭さを感じることもありますが、場所を分けて使うなどの工夫を促しています。またお子さまにも一緒に考えていただくきっかけとしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		請求業務や郵送業務等について、1人で担当するのではなく、複数人のチームで行うことで、業務の分担ができるようにしています。	請求業務や郵送業務を療育スタッフが行っており、適切なスタッフ数とはいえないと感じています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		遊具や玩具は、お子さまの刺激とならないように倉庫に収納しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		週に3度の清掃や毎日の換気・アルコール消毒・トイレ掃除を徹底しています。活動内容によって個室と療育室を使い分けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室があり、机上活動やクールダウンの場として活用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		業務を行ううえで気になる点が出た時には、都度職員で話し合いを行っています。また職員へのフィードバックを行ったり、具体的な目標の設定を一緒に行ったりすることで、職員の意識向上に努めています。	スタッフの向上心や目標意識によるところが、広く参加しているとは言えないところがあります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今年度からGoogleフォームでの回答になったため、職員が集計しやすく、かつ把握もしやすくなったと思います。	保護者様からの評価が全体に行き渡っているかどうか分からないところがあります。職員全体が必ず目を通すよう、回覧を回す等の工夫を試みます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間で出た意見は、必ず上長に報告をしています。業務を行ううえで気になる点が出た時には、都度職員で話し合いを行っています。	限定的なところがあります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			詳しく知らない職員が多いです。現在のところ、第三者による評価は実施していません。今後必要があれば検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月、事業所内や社内・職種別の研修が開催されています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			現在公表は行っておりませんが、令和7年度からの公表に向けた取り組みを進めております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		適切な支援計画の立案に向けて、日々のアセスメントや、保護者様とのフィードバック、ニーズの聞きとり等をしっかりと行うように心がけています。計画期間ごとにモニタリングを行い、お子さまや保護者様の意向を取り入れた支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		お子さまの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討していきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画は全職員に共有されており、療育前には必ず確認を行っています。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	毎回支援記録を残しており、状況や変化が確認できるようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	定期的にアセスメントを行ったうえで、お子さまや保護者様のニーズに沿った個別支援計画の作成をしています。 個別支援計画書の新しい書式に、本人支援等の項目が増えており、以前より意識ができてきていると思います。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	お子さまの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討しています。 集団活動や複数人で担当する活動のプログラムは、事前に役割分担等の進行について、密に連携を図り、チームで取り組むよう努めています。	タイミング的にできないこともあります。 請求・郵送等の業務に時間が割かれ、情報共有や療育内容の検討等の時間が少なくなってしまうことがあります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	お子さまの発達状況や様子に配慮しつつ、楽しく参加できる活動の提供に努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別・集団におけるお子さまの発達段階に応じた課題を探り、個別支援計画に反映させています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	その日の活動内容や役割分担について、確認する機会を設けるよう努めています。	タイミングが合わないと、できないこともあります。 他の業務に時間を取られている時には、短時間での共有となることがあります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	必要に応じて、保護者様からの相談事項やその日にあった出来事を話す機会を設け、職員間で共有しています。 職員への気付きやアドバイスを、都度伝えるよう心がけています。	タイミングが合わないと、できないこともあります。 効率良く業務をこなせる職員ばかりではなく、時間を取れないことがあります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	毎回、支援内容やアセスメントの記録を必ず残し、モニタリング等に役立てています。	手書きの記録であることもあり、後回しになってしまうこともあります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	半年に1度、保護者様への聞き取りを行い、支援計画の見直しを行っています。 保護者様と学校やご家庭・他事業所での様子を共有しながら、お子さまの全体像の把握に努めています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○	ガイドラインに沿った内容で、社会生活を見据えた支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	療育の中で、お子さまの意見を取り入れる場面をつくることで、自己選択・自己決定を促しています。 職員間で情報共有やアドバイスをし合うことで、意識の向上に努めています。	スタッフの個々の力量に左右される部分だと感じています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者や、よくサービス提供を行っている職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	ご希望があれば、学校の先生等の関係機関の方に、療育の見学をしていただくことが可能です。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	必要に応じて、保護者様と情報共有をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	保護者様からの聞き取りや書面での記録をもとに、これまでのご様子を推察し、それを踏まえた支援を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	ご希望があれば、これまでの支援内容等の情報提供を行います。	

携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			今後必要があれば検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		今後必要があれば検討していきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○		現時点のところ、参加はできておりません。他事業所と連携する機会を設けることができると考えております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			毎回の療育後に必ずフィードバックの時間を設けており、活動の様子やお子さまの状況をお伝えするとともに、情報共有を行っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			研修等のお知らせを定期的に発信しています。適時、対面やお電話にて情報共有を行い、気軽にご相談いただける環境づくりを心がけています。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			見学时や契約時に、運営規定や支援プログラム・利用者負担額について説明を行い、質問等があればその場でお答えしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			契約時にお子さまや保護者様のニーズの聞き取りを行い、それに基づいた支援を検討しています。またニーズに変化があった時には、都度支援内容の修正・変更を行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			必ず職員が対面にて説明を行い、保護者様から同意していただいたうえで、署名をいただいています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			ご希望があった時には、面談の機会を設けています。面談だけでなく、お電話でも相談を受け付けており、支援方法やご家庭での対応策などを提案しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○	○		社内イベントや就学前相談会等を開催しています。父母の会や、きょうだい同士が交流する機軸は現在設けていないため、今後必要であれば検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			契約時に苦情に対する相談窓口を案内し、適切な対応ができるよう努めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			法人ニュースレターやホームページ、Instagram等を通して、定期的に活動内容や情報の発信を行っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			個人情報が記載されている書類等は、全て鍵付きの書庫に保管しています。廃棄書類等は、ゴミ箱ではなくシュレッダーを用いて破棄しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			お子さまの発達状況や様子に応じて、絵カード等の視覚支援を用いて、情報の伝達や意思の疎通ができるよう努めています。
非 常 時 等	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○		詳しく知らない職員が多いです。今後、ご要望があれば検討していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			各マニュアルを策定しております。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			非常災害に備えて災害セットの備蓄を行っています。避難訓練の実施ができていないため、業務の調整ができるよう検討いたします。

の 対 応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に、禁忌事項等について保護者様に確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事提供は行っておりません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に安全点検を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に、非常時の対応について説明を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		<p>事案が起こった時にはヒヤリハットを作成し、原因や予防策等を職員で話し合っています。</p> <p>他事業所で起こった事案についても速やかに社内全体で共有しており、再発防止に努めています。</p>	
非 常 時 等 の 対 応	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		<p>虐待防止に関する研修を定期的に受講しています。</p> <p>また虐待防止委員会を社内に設置しています。</p>	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		虐待防止委員会を社内に設置し、適正な支援が行われるよう努めています。	